

SEMINAR

市民社会のための「参加のファシリテーター」研修

「参加」は市民社会の基本です。市民社会の必然的要求に支えられた参加型研修をプログラムし、ファシリテートするための基本を身につけるための研修です。なぜ参加なのかを、社会的発展、そしてそれに呼応した教育・学習ニーズの変化をふまえながらこれまでERICが行ってきた研修プログラムのすべてに精通し使いこなせることを目標にしています。テキストとして8月に出版予定の「ERIC プログラム集」を予定しています。

日程 1996年8月8日(木) 午後1時開始 1996年8月11日(日) 午後3時終了

場所 朝日のあたる家

参加費 5万円(宿泊費・食費)、研修会員の場合2万円(宿泊費・食費として)

プログラム

1日目 「市民社会とは何か」

- | | |
|-------------|--|
| Session I | 「参加するとは何か」 |
| 13:00~15:00 | ◇参加のタイムライン
◇参加のイメージマップ |
| Session II | 「市民社会を考える」 |
| 15:00~18:00 | ◇市民社会の定義
◇市民社会を考えるツール作成
- 価値観のランキング、4つのコーナーなど |
| Session III | 「市民社会の過去・現在・未来」 |
| 20:00~21:00 | ◇誰が市民社会を構成しているのか
◇歴史をふりかえり、未来に向けたチェックリストづくり
◇市民社会に向けた教育の変遷 |

2日目 「一人一人が主体であること」

- | | |
|-------------|--|
| Session IV | 「市民社会の構成員を尊重した地域評価法」 |
| 9:00~12:00 | ◇主体的参加地域評価法(PRA)の手法を知る
◇ファシリテーターの態度 |
| Session V | 「地域に出かけよう」 |
| 13:00~16:00 | ◇PRA手法の実践
- 計画と実践 |
| 16:00~18:00 | ◇ふりかえりと報告 |
| Session VI | 「ネットワークの強化」 |
| 20:00~22:00 | ◇協調・協力・協働を考える |

3日目 「市民参加のプログラム」

- | | |
|--------------|--|
| Session VII | 「市民参加の5W1H」 |
| 9:00~12:00 | ◇参加の事例紹介および分析
- Awareness, Attitude, Action, Advocacy
◇SWOT分析&ロールプレイ |
| Session VIII | 「研修プログラムづくり」 |
| 13:00~17:00 | ◇参加を促進する研修プログラムづくり
・ 実際のファシリテーションの経験 ・ ツールの完成 |

4日目 「市民社会は進化する」

- | | |
|------------|--|
| Session IX | 「市民社会成熟のためにできること」 |
| 9:00~12:00 | ◇成熟の要件- 継続性・発展性・オープンさ
◇推進のためにできること
◇ふりかえりおよび評価 |
| 13:00 | 終了 |

ERIC

国際理解教育センター
International Education
Resource & Innovation Center
114 東京都北区東田端1-14-1 岩瀬ビル1F
Iwase Bldg. 1F, 1-14-1 Higashi-tabata,
Kita-ku, TOKYO 114 JAPAN
代表案内電話 & FAX: 03-3800-9414

Fax情報番号 077#

M.E.E.T.ザ・ワールド

カンボジア環境教育支援・交流ボランティア派遣事業

Fax情報番号 071#

「M.E.E.T.ザ・ワールド」は、アジアにおいて参加型手法を使って国際理解教育を推進していくことを目的としたプログラムです。'94年度から始まったこのプログラムは、現在カンボジアでの教育支援活動を展開しています。

研修コース (4回連続ワークショップ)

この研修コースは、現地指導プログラムに基づいて参加型アクティビティ体験および参加型手法の理解に重点を置き、同時にファシリテーターとしての能力養成も目的としています。この研修コースのみの参加も可能です。

- 日時： 第1回 9月28日(土)
第2回 10月26日(土)
第3回 11月16日(土)
第4回 12月14日(土)
各回とも10:00~17:00
- 場所： 北区東田端ふれあい館(予定)
(北区東田端2-20-51:ERIC事務所なめ前)
JR田端駅北口 徒歩3分

参加費： 2万円(参加費振込先はERIC通信巻末を参照)

カンボジア派遣ボランティア募集！！

1997年2~3月の2か月間、カンボジアの地方('95年度の派遣地はプレイベン州・ラタナキリ州)の中・高校で国際理解教育のプログラムを基にした英語学習指導をするボランティアを募集しています。

派遣期間：1997年2月3月の約2か月間の内、任意の2週間~1か月間

- 参加要件：・英語でのコミュニケーションが可能である
・国内研修に参加する
4回連続ワークショップ
クメール語レッスン
ファシリテーター・トレーニング

自己負担：10万円(国内研修費含む)

その他詳細はERIC事務局までお問い合わせください。
問い合わせ・申込先：TEL 03-3800-9416(担当 田中)

1995年度のプログラム活動報告

事前研修として、9月~12月ワークショップとクメール後集中講座、教材作成を行った後、1996年2~3月の約2ヶ月間、プレイベン州・ラタナキリ州の合計4校(高校1校・中学校3校)でプログラムを実施しました。1995年度はボランティアの数(総勢14名)アクティビティの数も増え、現地学校もこちら側も多くを学びました。生徒用教材の開発や、様々な課題はあるが、1995年度の経験を踏まえ、プログラムのさらなる充実を目指すつもりです。

NAAEEツアー

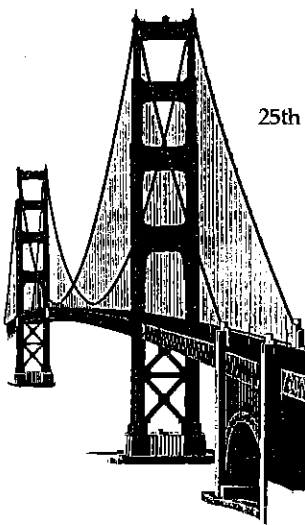
Fax情報番号 076#

「第25回北米環境教育連盟年次総会—次世代のための環境教育—」と ウィスコンシン環境教育推進プロジェクトの拠点、 ウィスコンシン大学訪問ツアーに参加しませんか？

25th Annual Conference; North American Association for Environmental Education
Environmental Education for the Next Generation
San Francisco Bay Area, California November 1-5, 1996

毎年行われている北米環境教育連盟の会議は、2,000人以上の人が集まる環境教育の一大祭典です。11月1~5日の会議に参加し、その後環境教育推進のメッカであるウィスコンシン大学およびウィスコンシンの環境教育スポットを訪ねるツアーを企画いたしました。奮ってお申し込み下さい。詳細については担当の角田(03-3800-9415;直通)までお問い合わせ下さい。

出発 10月31日 帰国 11月12日
全日程参加 35万円 NAAEE会議のみの参加 27万円



ヨーロッパ研修ツアー企画... ご参加下さい

ERICでは9月にイギリス・オランダ・ベルギーなどの子ども博物館見学やNGO訪問するツアーを企画中です。参加興味のある方は御連絡下さい。(担当 田中)

新着資料紹介



MAKING CONNECTION: Linking Population and the Environment - Elementary Teacher's Guide by Kimbery Crews, PRB, 1992, 138page
(PRB; the Population Reference Bureau, Inc., Washington, DC)

人口と環境について学ぶ小学生用教材。人口や環境という言葉の基本的な意味から、生活に必要な水、木、土について、また国々の相互関係までを学べるように工夫し、学習計画についても言及されている。



TREES: An Ecology Book for Children on Asian Pacific Trees, UNESCO(ACCU), 1995, 63page

平易な英語で読みやすく、絵も美しく、絵本としても、教科書としても使えるアジア・太平洋の環境を主題にした本。「TREES; 木」という題になっているが、地域の生活を紹介しながらその地域の人や土地の歴史にも触れ現代についても考えさせる書。18ヶ国で翻訳出版されている。

School Kit on the United Nations (Primary School, Secondary School), United Nations Publication

国連50周年に際し出版された、国連の機構、様々な国連機関・会議の役割や期間が設置に至った様々な国際的な背景・状況、国連会議の経緯と成果などについてまとめられ、アクティビティも入ってページごとにコピーして使えるキット型の国連教科書。

資料室会員の募集と土曜日開室のお知らせ

ERICの資料室では、環境、開発、平和、人権、異文化などについて英文図書をご利用いただいています。トマトや紅茶などの食べ物の歴史、様々な土地とそこで人々の暮らし、ゴミ問題などの身近なことから、グローバルなテーマに関する図書や絵本、フォトラングージなど幅広い教材を集めています。国際理解教育を推進のために、幅広く貴重な資料を利用し、意見交換の場として広く活用していただきたいと思います。この度、新しく資料室会員制度を設けました。資料室会員の方には資料室の運営会議に参加して頂き、資料室の運営、資料収集に関して忌憚ない御意見を頂き、「参加してつくる資料室」にしていきたいと思っています。

会費は生涯会員¥50,000—、個人のみとさせていただきます。資料室会員の方は資料室を無料でご利用いただき、リファレンス・サービス、文献コピー料金の割引などの特典を設けています。詳細につきましては担当の馬場までお問い合わせ下さい。会費の振り込みは下記までお願いいたします。通信欄に、資料室会員と明記して下さい。

郵便振替口座 00180-5-710744 加入者名 ERIC

事務局は、資料室も土曜日も開室、水曜日がお休みとなります。開室時間は12:00~20:00です。ご注意くださいませ。

ERICの書籍 こんなところで引用いただいています...

「わたし 出会い 発見」平沢安政/森 実監修 大阪童話教育研究協議会編

自分らしさを発見し、豊かな仲間づくりをめざす教材実践集。ERICの翻訳出版した「わたし、あなた、そしてみんな」他、あちこちにERICの書籍の引用や応用が人権教育分野を中心にちりばめられている一冊。見開きの見やすさ先生方の実践例が掲載されています。

「歴史授業のワールド化」日本史と世界史のドッキング学習 社会教育

'96年5月別冊 星村平和・原田智仁編著 明治図書出版

小学校向け「ワールド・スタディーズ」の「貧しい国はなぜ貧しい」を引用いただいています。歴史授業に地球的課題という視点を取り入れています。

土曜日は「ERICでわいわい」

ERIC事務所 利用時間・お休み変更のお知らせ

土曜日: 午後12:00~午後8:00まで

ERIC事務局は土曜日に活動、水曜日をお休みとさせていただきます。土曜日はボランティアさんや訪問者が集いアクティビティの体験会などを開いていきたいと思っています。近頃ERICではホットプレートを手入、みなさんのとびこみと持ち込みで楽しい土曜日にしてしまおうと思っていますのでぜひお気軽にお立ち寄り下さい。なお、資料室を利用する場合は事前にお電話を下さい。

OPEN Saturday・持ち寄り・Party

♪♪♪

日時 7月13日(土) 17:00~20:00

場所 ERIC事務所

ERIC資料室が土曜日にオープンすることになった!というのでささやかなパーティ開きます。飲み物はERIC側で用意します。一品何かお持ちになってご参加下さい。(会費500円、当日お持ち下さい。事前に御連絡お願いいたします)

PLTは、身近な「木」を題材として、そこから徐々に世界をみていく窓として、アメリカ森林協会(AFF)と環境教育評議会(WREEC)によって開発され、協賛されている総合的な環境教育プログラムです。当初、森林資源を長期的に社会のために利用することができる、知識と態度を持った市民を育てるために開発されました。森林を通じて、子どもたちに自然環境の複雑なつながりを理解させ、批判的で創造的な思考を促し、環境問題に対して情報に基づいた判断を下すことができ、自身に信頼を築き、責任ある行動をとれるような市民を育てることがPLTの使命です。

研修を受けられた方にはPLTファシリテーター認定書を発行します。

- 1日体験ワークショップ
7月7日(日)
- リーダー養成ワークショップ
9月28日(土)～29日(日) 場所千刈りキャンプ場
- 継続ワークショップ
3月8日(土)～9日(日)

申し込み、問い合わせ先
 財団法人エリック・環境教育事業部(山本)まで
 ☎ 075-462-9185 Fax 075-462-2289

●6時間研修.....FAX情報番号: #073
 ERIC国際理解教育基礎コース 第4回 PLT「木と学ぼう」
 7月21日(日) 10:00～17:00(開場9:30)
 場所 北区東田端ふれあい館(北区東田端2-20-51)
 ERIC事務所ななめ前・JR田端駅北口 徒歩3分
 参加費 7,000円(参加費振込先は通信の巻末の通り)
 申込先 電話03-3800-9416/FAX03-3800-9414
 (担当: 田中・久保)

 お知らせ

アルバイト募集

ERIC事務局ではアルバイトを募集中です。資料整理、パソコン入力(マッキントッシュ)、ファイリング、発送他事務局の心強いアシスタント業務です。学生・一般を問いません。国際理解教育、開発教育、人権教育、環境教育、異文化理解、平和教育に関心のある方、是非お問い合わせ下さい。お問い合わせはERIC事務局まで。

夏休み・夏期集中講座に伴う事務所のお休みについて

夏期集中講座(市民社会のための「参加のファシリテーター」研修); 8月8日～11日、およびERIC事務所夏期休業; 8月12日～25日のため、ERIC事務局は8月8日(木)～25日(日)までお休みいたします。宜しくお願いいたします。

おわび

前号でFAX情報サービスの番号、発行年月日など間違いがあったことをこの場をおかりしてお詫び申し上げます。

PLTコーディネーター会議

開催期間 1996年5月15日～19日
 場所 合衆国アイダホ州 ポストフォール 参加者116名

会議の主なプログラム

- 5月15日 ・新しいコーディネーターのためのセッション
 ・PLT20周年記念パーティ
- 16日 ・全体会(会議全体の日程などについて)
 ・ワークショップ; PLTワークショップを成功させている要素とは、「経験主義」教育とは何かetc
 ・パネルディスカッションを聞きながら昼食(アイダホ州森林問題州議員、ニューヨーク州環境教育局、アイダホ中学校教員・科学、他)
 ・中等モジュールに関する経験交換
 ・ワークショップ参加; 教育改革と環境教育、ワシントン州の経験
 ・「火事について学ぼう」ワークショップ体験
- 17日 フィールドツアー「絶滅に瀕するカリブ」
- 18日 ・PLT全米事務所のスタッフ紹介
 ・ワークショップ; 教員養成課程とPLT
 ・「火事について学ぼう」ワークショップ体験
 ・ワークショップ; (教育局が定める州などの)基準と評価について
 ・ワークショップ; 都市/街でのPLT
 ・ワークショップ; ファシリテーターマネジメント
 さよならディスコパーティ
- 19日 参加者 帰路へ

資料は英文ですが、閲覧希望の方は(PLTファシリテーターの方)事前に御連絡下さい。(担当: 久保)



国際理解教育センター

書籍購入費・研修費用は下記に振込願います

書籍専用 郵便振替口座 00160-3-547794
 研修費用専用 郵便振替口座 00180-5-710744

ERIC通信No.3 年4回発行 発行責任者 角田尚子 編集 久保さえ 印刷 株式会社TRY
 国際理解教育センター; ERIC 〒114東京都北区東田端1-14-1岩瀬ビル ☎03-3800-9416
 Fax03-3800-9414 御意見等はFaxで事務局までお寄せ下さい。